

# めぐみ厚生センター センターだより

第 312 号

発行 2009年5月15日

佐賀市緑小路1-3  
社会福祉法人  
めぐみ厚生センター  
めぐみ園 0952(34)7722  
富士学園 0952(63)0107  
ウイズ富士 0952(51)0063

発行者 栗林 恵一  
事務局 0952 (25) 2797  
印刷所 (株) 古川総合印刷

## 「甦れ 新馬場通り」



佐賀ん町屋ば甦らす会会員  
料庵 川松

川松 範子

佐賀市の松原神社、通称日峯さんの参道（新馬場通り）にある旧井徳屋旅館を解体の危機から救おうと「佐賀ん町屋ば甦らす会」が二〇〇五年五月に発足しました。明治時代の珍しい木造三階建ての井徳屋を残すことを手始めに、この新馬場通りに昔のような賑わいを取り戻そうという思いの人が集まった会です。

数回に渡って修復・改築された旧井徳屋旅館で二〇〇六年七月から、「ウイズ富士」の方々が育てられた野菜を販売し始めていただきました。販売は週一回だけでしたが、無農薬や減農薬の新鮮野菜が安く買えるのですから、御近所の方たちにも大変喜ばれました。

そんな中、新馬場通りの花ともいえる老舗の和食処「松川屋旅館」さんが、二〇〇六年八月末でお店を閉められることになりました。せっかく甦らす会も発足し、ウイズ富士さんも頑張ってきたので、会の人たちで松川屋

さんに相談に行きました。しかし、意思は固くどうすることもできませんでした。

「佐賀城下ひなまつり」の開催中も食事処がなかったら、ますます新馬場通りは活気をなくす。その時、もう自分たちでやるしかないという思いがむくむくと湧いてきて、とうとう料理屋をやるとうとう話になりました。

幸い、新馬場通りには空き店舗もあり、また偶然にもいい職人さんとの出会いもありました。「今やらなければ後悔する」との思いで、私たちの家族プロジェクトとして二〇〇七年四月に和食の店「料庵 川松」をオープンしました。飲食業は全くの素人の私たちでしたが、なぜか不安はなく、ただこの新馬場通りに賑わいを取り戻したいという思いだけがありました。そしてお店を始めてお客さまの話をお聞きし、この新馬場通りが、私たちが思っていた以上に歴史的にすごい通りなのだとい

うことがさらにわかってきました。

二〇〇八年六月には、甦らす会会員で当時めぐみ厚生センターの理事若林興三さんが、なんと井徳屋でウイズ富士の野菜や自然食品などを扱う「こだわりの店井徳屋」を出されたのです。

私たちが店を出してからたった一年後に同じ気持ちでこの新馬場通りに店を出して下さる方が現れるとは夢にも思いませんでした。嬉しくて、私たちは勇氣百倍、さらに楽しくなりました。

そして、今年二〇〇九年二月には、産直の店「太陽の恵み」さんがオープンし、また松川屋さんも再開され、新馬場通りにはますます活気が出てきています。また同月に甦らす会念願の松原神社参道の標柱も建立され、五月には新馬場通りで初めて産直まつりを開催し、多くの人たちで賑わいました。

聖書にならって言うなら「時は来たれり」、そういう思いで迷わず行動して本当によかったと思います。その御縁でこの原稿も書かせていただいています。これからも大変なこと、悩むこともたくさん出てくると思いますが、周りの皆様に助けられながら、一步一步進んでいきたいと思えます。

# めぐみ園

## 歯科健診



「はい、大きく口を開けてね」

六月一日、栗林歯科医院より来園していただき、年一回の歯科健診がありました。

利用者一人ひとりの歯を、虫歯がないか時間をかけて診て頂きました。食べ物美味しく味わうことができるのも、物を噛む歯があつてこそだと思います。改めて「歯の大切さ」を知る良い機会となりました。

これからも、食べ物を美味しく感じられるように、私たち一人ひとりが歯磨きを丁寧にしていかなければならないと感じたひと時でした。

ありがとうございました。

## 感謝をこめて



光岡先生、看護師のみなさん  
ありがとうございます

理事長先生、これからも  
よろしくお願いします

六月七日から九日にかけての三日間、花の日訪問を行いました。

日頃お世話頂いているセレソデイピティ美容・久能理容・タフセ理容・中央クリニック・栗林歯科・山田耳鼻科・ながせ皮膚科・加藤眼科・早津江病院・佐賀市役所東与賀支所・東与賀駐在所・めぐみ教会に感謝の気持ちを花と園で採れた野菜と共に、利用者さんが描いた絵を貼った袋に入れて手渡しました。

## 消火訓練



新任職員を代表して

利用者を代表して

六月十五日、晴天の中、午後から夜間想定避難訓練を行い、その後めぐみ園の運動場にて消火訓練を行いました。今回は、新任職員三名と利用者二名が代表して訓練を行いました。業者の方よりやさしく操作の手順など教えて頂き、本当に有り難うございました。

## 西山三郎さん お別れ会



心よりご冥福をお祈り申し上げます。

去る六月二十二日、天に召されました故西山三郎さんのお別れ会がめぐみ園で行なわれ、会場には、ご遺族の方、旧めぐみ園職員や利用者、職員が参列しました。

富樫牧師による記念礼拝が行われお別れの言葉では、四十年間のめぐみ園での思い出が語られ、在りし日の西山三郎さんが偲ばれました。

最後に、参列者一人ひとりが御霊前に手を合わせて最後のお別れをしました。

# 富士学園

## 体も心も五月晴れ!



楽しく運動、気分爽快!

五月二十九日、ふれあい館にて3B体操の講師の方と富士町在住の小学生をお招きして、レクリエーションや体操を行いました。地域の方々とのふれあいに、利用者の方々は笑顔いっぱい。普段は体を動かすことにあまり意欲を見せられない方も、声を掛けられ、手を取られると、音楽に合わせて体操に取り組みました。いい汗をかいて、さわやかな気分度過す一日となりました。

## 消火訓練



放水にも力がいります

晴天の中の五月二十七日、フジ防災システムズ様の協力により消火訓練を行いました。初めて消火器を持たれる方も居られ、基本的な使用方法を細かくご指導いただきました。さらに消火栓を利用した訓練も実施して、実際に火災が発生した場合の対応をしっかりと学ぶことができました。しかし、まず日頃から火事を起こさないよう一人ひとりが意識を持って過ごしていきたいと思えます。

## 選択食事



最も人気だった豚カツ

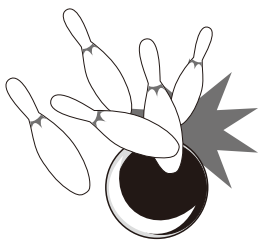
六月十九日に選択食事を行いました。今回は主菜の選択ということで、豚カツ、鶏の唐揚げ、魚フライの中から事前に食べたい物を写真にて選んでもらいました。富士学園・ウイズ富士併せて、豚カツが約七割を占めて一番人気でした。次いで鶏の唐揚げ約二割、魚フライ約一割という結果でした。やはり、魚より肉料理が好まれる傾向のようでした。いつもより少し豪華な食事で、皆さんこの日を楽しみにされていたようで、美味しそうに召し上がっていました。

## 第八回佐賀県障害者スポーツ大会



商品を獲得され、皆さんの顔にも自然と笑みがかぼれていました。その後他施設の方と交流し楽しい一時を過ごされました。

五月十七日(日)に佐賀県総合運動場でフライングディスク六名と遊道楽嘉瀬店にてボウリング八名で参加しました。雨天であいにくの天気でしたが、練習の成果をいかして頑張りました。ボウリングは、二日間練習をおこない、大会では、ストライク・スベアーがでて入賞しました。



### 事務所便り

もうすぐ梅雨明けですね。そして  
ら太陽が毎日顔を出して、また暑い  
夏がやってきます。

事務所では、冷房を入れるタイミ  
ングを温湿度計とにらめっこしなが  
ら待っています。とにかく事務所は  
パソコンなど熱を発生する機器が多  
くこの部屋よりも暑いのです。しか  
し、昨年より始めた「夏のエコスタ  
イル宣言」に取り組んでおり、今ま  
で以上に努力しているつもりです  
が、近頃の暑さに負けてスイッチを  
入れてしまいます。でも冷房を入れ  
ると、どうしても寒がりの人に冷氣  
が…。(ちよつと席替えしたい気分  
になります。)

今年は一人ひとりの意識の向上で  
節約につながり、更なるサービスの  
充実ができればと思います。

### 聖句

目をまっすぐ前に注げ。  
あなたに対してしているもの  
に、まなざしを正しく向け  
よ。どう足を進めるかをよく  
計るなら、あなたの道は常に  
確かなものとなる。右にも  
左にも偏ってはならない。悪  
から足を避けよ。

(箴言 四章二十五〜二十七節)

### ご案内

#### ◎めぐみ園

「ふれあい夏祭り」

日時：八月六日(木)

十八時二十分〜二十時

場所：めぐみ園運動場

#### ◎富士学園・ウイズ富士

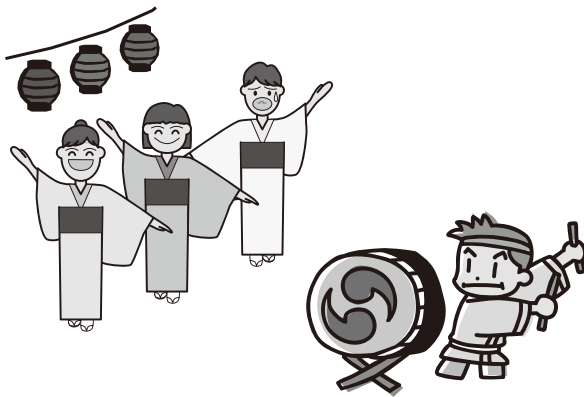
「交歓の夕べ」

日時：八月八日(土)

十七時〜二十時

場所：富士学園広場

◇多くの方のご来園をお待ちして  
おります。



皆様ありがとうございました  
(五・六月分)

#### ◎法人へ

●藤永 正弘 様より

寄付

●栗林 恵一 様より

寄付

●川崎 俊朗 様より

寄付

#### ◎富士学園へ

●恵友会 様より

寄付

#### ◎めぐみ園へ

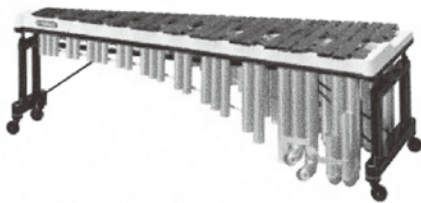
●新栄ボランティア

八谷チサ子 様より 雑巾多数寄贈

#### マリンバの演奏会

六月十日、東与賀小学校「親と子  
の音楽会」に(利用者三名、職員二  
名)招待を受けました。

マリンバの演奏者でもある吉原敏  
郎校長先生が「まりと殿様」「剣の  
舞」など、私たちがどこかで聞いた  
ことのある曲を演奏してください、  
約一時間マリンバの音色に魅せられ  
ました。



### 何でもコーナー

#### センター用語の基礎知識

【山】富士学園の別称。古株の職員  
が使用。用例として故栗林恒俊氏の  
愛称で山の園長さん等。

【渦】山の反対語、即ちめぐみ園。  
一部の職員が使用。

【せせらぎ】渦の男性棟

【そよかぜ】渦の女性棟

【あおぞら】渦の管理棟

【富士II】「山」の更に山奥にある  
ケアホーム。大手家電メーカーとは  
同音異義語。

【金立II】今年四月開所のケアホー  
ム。きんりゅうつ。他県の方が正  
確に読むことは至難。

【ABC】交代勤務の略称。A早  
出・B遅出・C日勤。山ではA帯、  
渦ではA勤と呼称がやや異なる。B  
をAと間違っていると笑われる  
が逆は大遅刻である。

#### あとがき

山(ウイズ富士含む)では四  
月からセンターだより編集委員  
が新しくなり、誌面にも喜怒哀  
楽を散りばめた新たな企画を投  
入していきます。そう、時に  
は「怒」もださなきゃ…。

by 山の委員長